

事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成31年3月4日
職員10名に配布

事業所名

社会福祉法人あづみの森
第3あづみ園

		チェック項目	はい	いいえ	未記入	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	90%	10%		<ul style="list-style-type: none"> 活動によって広い場合は、パテーションでくぎる 	<ul style="list-style-type: none"> 部屋によって異なるので、子ども達が活動しやすい様に区切って支援をおこなっていきます。
	②	職員の配置数は適切である	100%	0%		<ul style="list-style-type: none"> 活動形態によって人員調整を行う 配置基準は満たしている 	<ul style="list-style-type: none"> 配置基準は満たしているので、継続していきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	40%	60%		<ul style="list-style-type: none"> すのこなどを使い、なるべく段差を解消している 部屋を区切って環境整備 視覚支援等はできている。 	<ul style="list-style-type: none"> 古い建物を改修しているため、すべてがバリアフリーになっていない為、少しでも段差が解消できるように、すのこや安定した台などで対応していきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	60%	40%		<ul style="list-style-type: none"> 遊びの内容を考慮し空間を区切っている 毎日掃除を行っている。 加湿をしている 	<ul style="list-style-type: none"> 整理整頓ができていない為、収納しやすいラック等を用意しラベルを貼り、解りやすい様にしています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画している	90%	10%		<ul style="list-style-type: none"> 朝礼や月1回の会議で話合うようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、朝礼や会議で話し合えるようにしていきます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0		<ul style="list-style-type: none"> アンケートを行い、評価が低いところは話し合い、意見を出し合い改善につなげている。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題を書いている人、チェックで終わっている人がいるので、保護者の意見をすべて聞き取れていない為、記入しやすい用紙の検討を行っています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	90%	10%		<ul style="list-style-type: none"> 保護者には手紙にて配布 HPで公開 	<ul style="list-style-type: none"> HP等での公開は行っているが、どこに掲載しているのかわかりにくいと感じる方もいるので、紙媒体での配布も併せて行っています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	10%	80%	10%		<ul style="list-style-type: none"> 事業所内評価から改善していきます。

適切な支援の提供	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の課題に応じた研修を実施 ・月1回の職員研修 ・年に5～6回のフォーラム ・事業所内研修 ・自己研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、職員のスキルアップにつなげていけるようにしていきます。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0		<ul style="list-style-type: none"> ・個人懇談・個別で保護者の意見を取り入れている ・ケースカンファレンスや日々の様子を基に、個別支援計画の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、子どもの実態把握を行い計画に反映できるようにしていきます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用している	90%	10%		<ul style="list-style-type: none"> ・知能検査実施 ・行動チェック表の使用 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、標準化されたツールを使用し、分析を行い支援に反映できるようにしていきます。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	40%	40%	20%		<ul style="list-style-type: none"> ・職員全体に資料の確認をする用に再度促していきます。 ・支援項目が設定されていないので、見直しをおこない計画に反映できるようにしていきます。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	90%	10%		<ul style="list-style-type: none"> ・個々に合わせて支援を実施 ・子の状況に応じて、支援の内容を変更 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、子どもの実態把握を行い計画に反映できるようにしていきます。
	⑭	活動プログラム立案をチームで行っている	90%	10%		<ul style="list-style-type: none"> ・クラスや他の先生と話し、計画案を回している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、チームで検討し支援につなげていきます。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0		<ul style="list-style-type: none"> ・クラスや子の課題に応じて活動を設定している 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、子ども達が楽しく活動できるように、工夫していきます。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	100%	0		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの状況に合わせて内容で設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、子どもの実態に応じて、計画に反映できるようにしていきます。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	80%	20%		<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼時や受け入れ前に確認。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、職員全体同士で情報を共有し支援できるようにしていきます。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	80%	20%		<ul style="list-style-type: none"> ・クラスに入った職員と様子や達成度など話し合い情報の共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・出来ない日もあるので、できない日は引き続き、記録等に残し、後日でも情報が共有できるようにしていく。

関係機関や保護者との連携	①9	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0		<ul style="list-style-type: none"> • 子どもの様子、支援などを記録 • 見直して日々の活動や支援に生かしている 	<ul style="list-style-type: none"> • 引き続き、子どもの様子や変化を記録し、変化に応じて支援の修正をおこなっていきます
	②0	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	90%	10%		<ul style="list-style-type: none"> • 半月ごとの個人懇談で保護者と課題等を振り返り支援計画に反映 	<ul style="list-style-type: none"> • 引き続き行い、保護者の意見を適切に反映できるようにしていく
	②1	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0		<ul style="list-style-type: none"> • 児発管が出席し、時間調整ができた際には担任も参加する 	<ul style="list-style-type: none"> • 担任は行事等で参加できない時もあるので、記録を残し情報を共有できるようにしていく
	②2	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0		<ul style="list-style-type: none"> • 電話や送迎時に話をする • 保育所に様子を見に行き連携を行う 	<ul style="list-style-type: none"> • 引き続き、保護者や関係機関との情報共有を行い、支援に反映していきます。
	②3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			100%	現在利用なし	<ul style="list-style-type: none"> • 利用希望者がある場合は関係機関と情報共有をし、支援が提供できるようにしていきます。
	②4	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			100%	現在利用なし	現在利用なし
	②5	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0		<ul style="list-style-type: none"> • CFに参加してもらって情報共有 • 送迎時や電話での連携 • 状況に応じて訪問 	<ul style="list-style-type: none"> • 引き続き、保護者や関係機関との情報共有を行い、支援に反映していきます。
	②6	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0		<ul style="list-style-type: none"> • 保幼小の連携 	<ul style="list-style-type: none"> • 引き続き、関係機関との情報共有や連携を行い、同様の支援ができるようにしていきます。
②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	80%	20%		<ul style="list-style-type: none"> • 公開療育への参加 • 県立大学や療育機関の先生の訪問指導 	<ul style="list-style-type: none"> • 引き続き、関係機関と連携の中で、助言等頂いた内容を支援に反映できるようにしていきます。 	
②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	50%	40%	10%	<ul style="list-style-type: none"> • 併行保育としてはできている 	<ul style="list-style-type: none"> • 園と園の交流はないが、引き続き地域の公園や公共機関を利用する機会は設定していきます。 	

	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	60%	40%		<ul style="list-style-type: none"> • 可能な限り参加 • 法人の代表が出ている 	<ul style="list-style-type: none"> • 引き続き、法人の代表が参加し、情報収集や共有等をおこなっていきます。
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0		<ul style="list-style-type: none"> • 連絡帳や電話で課題を伝える • 個別に来られない方には手紙を出す 	<ul style="list-style-type: none"> • 引き続き、行事に参加出来ない保護者には、送迎や電話連絡、手紙等で伝えていくようにしていく。
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	60%	20%	20%	<ul style="list-style-type: none"> • ニーズを聞いて対処法を伝える 	<ul style="list-style-type: none"> • ペアレントトレーニングとしては実施できていないが、それにかわる親子活動や学習会等を引き続きおこなっていきます。
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	70%	10%	20%	<ul style="list-style-type: none"> • 玄関先にファイルを置いていつでも閲覧できる状況にしている 	<ul style="list-style-type: none"> • 閲覧ファイルがどこにあるのかを知らない方もいるので、設置場所の案内等を行っています。
	③3	児童発達支援が「1つの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容」と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	90%	10%		<ul style="list-style-type: none"> • 理由も説明し同意をもらう 	<ul style="list-style-type: none"> • 保護者に解りやすい書式や書面にしていきます。
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0		<ul style="list-style-type: none"> • 個別、親子活動、懇談、CFで実施 	<ul style="list-style-type: none"> • 保護者が子どもの実態を関係者に伝えられるようにしていく。実態に応じて書面に残していきます。
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	80%	20%		<ul style="list-style-type: none"> • 親子活動後の懇談の際に、保護者同士が話を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> • 日々の子どもが異なるので、保護者会としては難しいが、引き続き、親子活動後の懇談会や行事等で保護者同士が悩みを相談できる時間をもうけていきます。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0		<ul style="list-style-type: none"> • 直接電話や連絡帳にて対応 • 必要に応じて懇談を実施 	<ul style="list-style-type: none"> • 引き続き、保護者の相談等に迅速かつ適切に対応していきます。
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0		<ul style="list-style-type: none"> • 広報誌、園だより、クラスだよりにて保護者へ発信 	<ul style="list-style-type: none"> • 引き続き、園での取り組みを知って頂く為に発信していきます。
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0		<ul style="list-style-type: none"> • USBをなくし、共有フォルダ(VPN)の導入 	<ul style="list-style-type: none"> • 引き続き、個人情報の取扱いに気を付けておこなっていきます。
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0		<ul style="list-style-type: none"> • イラストなどにし、保護者に合わせて伝えている 	<ul style="list-style-type: none"> • 引き続き、相手の状況に合ったツールを使い、伝達できるようにしていきます。

	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	90%	10%		・事業所に招待する活動はないが、引き続き地域の公園を利用したり、散歩をする事で地域との関係は作っていきます。
非常時の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに発生を想定した訓練を実施している	90%	10%		・防災担当が作成している	・マニュアルはあるが、保護者周知ができていないので、掲示等をし保護者への発信につなげていきます。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0		・月1回の訓練 ・年2回の総合訓練(消防署来園)	・定期的に訓練はおこなっているが、災害によっては、マニュアルに即した訓練ができていないので、災害時に即座に対応出来るように、年間を通して実施するようにしていきます。
	④③	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0		・利用前に調査票にて確認	・引き続き、発作時は即座の対応が求められる為、職員が常に情報共有ができる様にしていきます。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0		・医師の指示書や診断結果を提出してもらっている	・引き続き、安心して給食が食べられるようにしていきます。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	70%	30%		・ファイルにしている	・その都度対応はしているが、事例を集めての検討や分析ができていない為、定期的に事例を集めての検討を行い、事故を未然に防げるようにしていきます。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	90%	0	10%	・年1回は必ず実施している	・引き続き、実施し虐待を未然に防げるようにしていきます。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	10%	50%	40%		・安全面を考慮する為、制止する場合もあるので、事前に保護者への説明や記載を行い、理解の上で対応ができる様にしていきます。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：平成31年3月4日

事業所名 社会福祉法人あづみの森
第3あづみ園

保護者等数（児童数）74家庭に配布

割合 74 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無記入	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	91%	7%	0%	2%	0%	・使う部屋は広くスペースも十分	・今後も子どもの実態や活動に合わせて、空間を区切りながら、安全なスペースでの活動の展開ができる様にしていきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	85%	9%	0%	5%	0%	・常に配置数、専門性はよいと思います。	・配置基準は満たされているので、引き続き事故なく過ごせるようにしていきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	82%	13%	2%	4%	0%	・バリアフリーにはなっていないが、わかりやすい環境だと思う。 ・階段が危なくないのかな（シューズなしでは危なくないか）と思うことがある。 ・室内トイレが他の指導室を通らないといけないので気になる	・階段については、湿度が高い時期に滑りやすいので、滑らない方法を再度検討していきます。 ・室内トイレについては、構造上難しいので、室外トイレの併用を促したり、時間を決めていけるようにしていきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	87%	9%	0%	4%	0%	・入る前の柵に我が子は発達障害なんだと初めて思った。 ・建物は古いけど、各スペースはきれいにしており大丈夫	・柵は安全を守るために必要なので、少しでも、イメージが和らぐように花や野菜を植えるなどを検討していきます。
適切な否	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	96%	2%	0%	2%	0%	・一緒に課題を考えて頂き、子ども達に指導して頂いています。	・引き続き課題に合った、支援を行っていきます。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	93%	4%	0%	4%	0%	・知識不足です	・分かりやすい様に説明していく様にしていきます。 ・項目に応じ個々に合った課題を設定し、関係機関と連携をしつつ支援を行っていきます。

へ 援 の 提 供	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	96%	2%	0%	2%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的に支援計画を作成して下さり、計画に沿った支援をして下さっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き課題に合った、支援を行っていきます。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	93%	5%	0%	2%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画だけでなく、気になる部分等を教えて下さり、その部分での活動もして下さっていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの実態や課題に合った活動を設定し支援していきます。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	73%	13%	2%	13%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園と併行できることが良い 	<ul style="list-style-type: none"> ・園と園の交流は難しいが、地域の公園や公共機関を利用する活動は引き続きおこなってきたい。
保 護 者 へ の 説 明 等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	89%	9%	0%	2%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・入園児の説明や毎月のお手紙などで説明して下さりわかりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き解りやすい説明を心がけます。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	91%	5%	0%	4%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・懇談の時に細かく説明して下さっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き解りやすい説明を心がけます。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	76%	16%	2%	5%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・先生と会う機会が少ないですが、連絡帳やノート等で様子を伝えて頂いている。 ・懇談や個別指導、送迎時にアドバイスをし、園だけでなく家でも出来る事を教えてくれています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニングは実施していないが、送迎や個別指導、懇談で日々の困り感に対するの対応方法のアドバイスをし、保護者の不安感を取り除けるようにしていきます。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	93%	5%	0%	2%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・今、何が課題なのかしっかりと考えて頂ける ・細かく様子を教えて下さるので、課題についても共通理解がしやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の送迎や個別指導以外にも、年に2回程度は関係者が集まり、情報共有の時間を設けています。引き続きおこなっていきます
	⑭	定期的に保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	93%	4%	0%	2%	2%	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな活動をして、どのような目的をもってしていると説明して下さるので安心 ・個別指導や懇談、カンファレンス等で助言頂ける機会があり、助かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、個別指導や懇談、カンファレンス等で伝えていきます。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	60%	24%	2%	13%	2%	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの保護者の方がわからない ・親子活動の後の保護者懇談会で回りの方と悩み等を共有出来たり助言を頂ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々子どもが異なるので、保護者会としてないが、親子活動後の懇談会や行事等での保護者同士の交流する時間は設けている。

	⑩	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	87%	7%	0%	4%	2%	<ul style="list-style-type: none"> 先生と話す機会が多いので、相談もしやすく、忙しい中でも一人一人話をしてくれていると思う 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、迅速かつ適切に保護者の悩みに対応していきます。
	⑪	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	93%	4%	0%	2%	2%	<ul style="list-style-type: none"> よく気づかって頂いている 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、状況に応じて配慮していきます。
	⑫	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	89%	5%	2%	2%	2%	<ul style="list-style-type: none"> 毎月のおたよりが写真付きで丁寧。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き個人情報に配慮しつつ、園の様子を発信していきます。
	⑬	個人情報の取扱いに十分注意されているか	89%	5%	0%	5%	2%	<ul style="list-style-type: none"> 写真にはわからないようにして下さっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、適切に対応していきます。
非常時等の対応	⑭	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	78%	5%	2%	13%	2%	<ul style="list-style-type: none"> よくわからない 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の方にも解りやすい様に掲示等をし発信していきます。 訓練は毎月1回は行っておりますが、保護者の方に伝達不足だった為、おたより等で明確に伝えていきます。
	⑮	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	76%	11%	0%	9%	4%	<ul style="list-style-type: none"> よくわからない あまり話を聞いた事がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 訓練は毎月1回は行っておりますが、保護者の方に伝達不足だった為、おたより等で明確に伝えていきます。
満足度	⑯	子どもは通所を楽しみにしているか	85%	9%	0%	4%	2%	<ul style="list-style-type: none"> 楽しみに登園している 通園の日は朝から楽しみにしています 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、子ども達が楽しく利用ができる様に配慮や工夫を行っていきます。(行事含む)
	⑰	事業所の支援に満足しているか	93%	2%	0%	4%	2%	<ul style="list-style-type: none"> ちょっとした相談にも考えてアドバイスを頂けてうれしい。 日々の行動を随時報告し内容も分かりやすい 活動内容も毎回違ったり、クッキングなど子どもが喜ぶ内容も多く通園している。 親子活動や行事も多いので、私も楽しみにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 現状の評価に満足せず、日々職員がスキルアップし支援につなげていけるようにしていきます。 日々、子どもや保護者に寄り添いつつ、課題に即した支援をおこなっていきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。